

家紋入りすだれづくりワークショップ

対 象 エ リ ア	勝山市片瀬地区
日 時	平成25年8月18日（日） 9:30～12:00
開 催 場 所	片瀬集会場
対象者（人数）	片瀬地区およびその周辺の親子 参加者30名
主 催	福井県
共 催	一般社団法人 福井県建築士会勝山支部
関 係 者	片瀬区
ね ら い	すだれは、日陰を作り風を通すエコ素材であると同時に、まち並み景観を形成する素材でもある。そこで、各家庭の家紋を刷り込みオリジナルのすだれを作ること、昔の生活の知恵を知ってもらい、統一感のあるすだれを各家庭の軒先に吊るすことでまち並み景観に連続性を持たせ、まち並みづくりに対する意識向上を図る。
プ ロ グ ラ ム	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家紋の歴史やすだれの効果についての話を聞く 2. 昔の道具を使ったすだれづくりの実演を見る 3. 家紋入りすだれを作る
準 備 物	<p>【すだれ材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すだれ 参加申し込み者に事前に大きさを確認しておく <p>【製作のための材料等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家紋図柄を印刷した物 ・マスキングシート（型紙） ・セロテープ（家紋図柄をマスキングシートに固定するため） ・カッターナイフ ・カッティングマット ・スプレーのり（型紙をすだれに固定するため） ・ラッカースプレー ・新聞（スプレー養生用） ・ブルーシート（スプレー養生用） ・マジック（家紋デザイン微調整用）



(一社) 福井県建築士会勝山支部の講師に、まずは家紋の話をしてもらった。三つ葉葵など有名な家紋を紹介しながら、地元の成器南小学校の校章のデザインは、勝山藩主の小笠原家の家紋「三階菱」が基になっているという話などに、参加者たちは聞き入っていた。



次に建築士としての立場から、すだれの効果について説明をしてもらった。すだれは窓の内側に設置する場合は日射熱を40%程度しかカットできないのに対し、窓の外側に設置する場合は80%程度カットできるという話や、すだれに水をかけることで室内に入ってくる風が2~3℃涼しくなるという話を聞いた。



続いて、地元区民の方が昔使っていたすだれを作る道具で実演をしてもらった。昔の農家は、米俵などを自分たちで編んでいたとのこと。



実演の後は、家紋入りすだれ作りに取り掛かった。事前に聞き取りした家紋の図柄をマスキングシートに貼り付けて、型を作った。簡単な家紋もあれば複雑な家紋もあり、型紙の完成時間にはばらつきがあったが、かえって次の工程の場所が混雑せずに済んだのでよかった。



切り抜いた型紙をすだれにスプレーのりで貼り付け、周りを養生して黒のスプレーを吹きかけて完成した。



家紋が入っているすだれをさっそく吊るしてもらった。参加された方からは、「家紋が入ったすだれを設置することで、家の雰囲気が高調高く感じ、とても誇らしい」との感想をいただいた。

家紋入りすだれ 製作手順

①		<p>家紋を印刷したものを用意します。 その紙をマスキングシートにセロテープ等で貼り付けます。</p>
②		<p>印刷された部分をカッターナイフなどで切り抜きます。左の図柄の場合、黒部分を切り抜くこととなります。 (①の図柄を白黒反転しています)</p>
③		<p>切り抜く時に、白い部分が全部つながっている必要がありますので、左図の赤印のように、一部を切り抜かないように注意してください。最初から左図のように加工しておくこと失敗しません。 (②の図柄に赤印部分を加工してあります)</p>
④		<p>切り抜いた状態がこちら。 線が細かい場合、黒いスプレーで吹付けたときに型紙がめくれたりして繋がってしまうこともありますので、太めの線がおすすめです。</p>
⑤		<p>新聞紙を敷いた上にすだれを敷いて、切り抜いた型紙をスプレーのりですだれに貼り付けます。型紙の周囲にもスプレーが塗布される可能性がありますので、新聞を敷いて養生してください。</p>
⑥		<p>型紙や新聞紙を取り除いた状態です。 (型紙で切り抜かなかった部分の線が細かったために、図柄があまりはっきり現れていません。) ③で一部加工している場合(左図の赤印部分)は、油性の黒マジックで修正して完成です。</p>